

# 令和4年度 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表: 令和5年2月

事業所名: クルーズ勝山

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			・基準以上のスペース確保ができています。 ・パーティション等を活用する等、個々に応じた環境設定を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			・定員10名に対して、基準人員2名(児童指導員及び保育士)及び、加配職員2名(保育士、理学療法士)の配置となっています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85.71%	14.29%		・玄関、トイレ、廊下等に手すりを設置しています。 ・段差スロープを設置している箇所もあります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			・事前、事後でミーティングを行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			・保護者の方の意見等スタッフ間で情報共有を図り改善につなげております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			・自己評価の結果はホームページ上で公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	・現状、保護者と社内評価のみとなっております。第三者に委託した外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			・研修計画をもとに施設内研修・外部研修の実施をしています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・保護者や各関係機関と定期的に面談等行い情報共有を図っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			・他職種の職員の視点や考えを取り入れながら、活動プログラムを立案しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			・子どもの興味関心をベースに、活動の幅が広がるように支援しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%			・利用時間等によって活動内容を設定し子どもたちが楽しめるように支援しています。 ・休日、長期休暇など利用時間が長い場合は、粗大、微細運動の両方ができるように設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			・個々に応じた目標設定を行い立案しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			・子どもたちの状況に応じて、環境設定を行ったり、興味関心のある課題や遊び等を計画し、楽しく安心して活動に取り組めるように、職員間で情報共有を図っています。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			・職員間で振り返りを行い情報共有を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			・業務日誌や個別記録。また、保護者の方との連絡帳において、日々気づいた点、その日の体調、生活状況の変化等を記録し、振り返りを行っています。その都度職員間での連携・情報の共有を図っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			・保護者の方との面談や、子どもの状況等職員間で振り返りを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%			・ガイドラインの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)に沿って支援を提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	100%			・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%			・体調面以外にも、学校や事業所での様子について情報共有を図っています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		100%		・現状、医療的ケアが必要な方はおられません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	100%			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	28.57%	42.86%	28.57%	・現状、卒業生がいない為行っていませんが、転居による転校の際、情報提供等を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	71%	29%		・オンライン研修に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	85.71%	14.29%		・地域の新型コロナウイルス感染状況等に応じて、感染予防を行った上で児童館や公共機関等の利用及び地域イベント等への参加を行っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%			・通所事業所分科会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			・連絡帳の活用や送迎時等に子どもの状況について情報共有を行っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	100%			・子どもの状況に応じてペアレントトレーニングなどの助言や療育関連の本の貸し出し等を行っています。 ・保護者学習会や障害福祉サービス事業所への見学会などを実施しています。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			・契約時に詳細をお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			・面談以外でも必要に応じて伝達・相談できる機会を設けています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100%			・今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、保護者会等は行っていません。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%			・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			・ホームページ上で日々の活動の様子等掲載しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			・個人情報が記載された書類は鍵付きキャビネットに保管しています。 ・個人情報の取扱については十分注意するとともに、取扱に際しては、その都度、その目的や内容等について保護者の方に確認し、了解を得たうえで実施しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			・子どもの特性などを把握した上で配慮しています。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	14.29%	85.71%		・現状、事業所の行事等に地域住民の皆様が参加されることはありませんが、地域の方の協力を得ながら畑活動等を行っています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%		事業所内で共有に努めています。保護者も周知できるようにマニュアルの設置等を検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%		・非常災害時の避難訓練や消火訓練等は定期的に行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%		・虐待防止研修(年2回)実施しています。 ・虐待防止に関する研修は児童発達支援管理責任者が必ず受講し、職員間で共有しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%		・身体拘束に関しては、利用者本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識とし、行った場合は記録に残すことにしています。 ・対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載する体制があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%		・保護者に確認を行い、必要に応じて診断書等の提出をお願いしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%		・ミーティングを通して職員で共有しています。